

水系二液オールインワンシーラー

マイティー万能水性シーラー

白 クリヤー

各種基材
完全網羅

あらゆる素材に
all 1
これ1本

すべて
塗り替え可能

白 と クリヤー の使い分け

白

- ・窯業系サイディング材
- ・新生屋根
- ・金属系素材 など

- 鉄部の防錆性アップ (JIS K 5674相当 複層膜)
- 遮熱塗料上塗りとの組み合わせで性能アップ
- 隠ぺい性アップにより高仕上がり外観

防錆性 (複合サイクル試験 36サイクル)

【マイティー万能水性シーラー 白】



【防錆性を有さない水性シーラー 白】



クリヤー

- ・窯業系サイディング材
- ・新生屋根
- ・けい酸カルシウム板 など

- 基材が脆く、吸込みが著しい。
- コンクリート・モルタル新設、けい酸カルシウム板の吸込み防止

ポイント

少

滑らかな仕上げ
ヘアクラック充填性アップ

サイディング材

希釈量

多

基材吸込み大
含浸・固着性アップ

けい酸カルシウム板
新生屋根

素材適応表

色相	無機系素材						サイディングボード種別						鉄・非鉄金属・その他						屋根		
	コンクリート・モルタル	けい酸カルシウム板 ^①	プラスターボード	ALC ^②	押出成形板	GRC・PCC板	磁器タイル・ホーロー	通常塗装板	ふっ素塗装板	無機系コーティング	光触媒コーティング	一般鉄部	アルミニウム ^③	ガルバリウム	溶融亜鉛めっき(ドブ付け) ^④	電気亜鉛めっき	硬質塩ビ	FRP ^⑤	木部 ^⑥	新生屋根	鋼板(カラータタン・折板) ^⑦
白 ^{※1}	○	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—
クリヤー	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	— ^{※2}	— ^{※2}	×	— ^{※2}	— ^{※2}	— ^{※2}	○	○	○	—

○:最適 ×:不適 —:一般的には塗装しない

①けい酸カルシウム板へ塗装する場合、吸い込みが止まらない場合は塗り回数を増やして下さい。また、1回塗装し研磨を行った後に2回目を塗装すると、仕上がり外観が向上します。②ALC板はDNT ALCファイラー・軸元5号Sなどの下地調整材で巣穴を埋めた後に塗装を行って下さい。③アルミニウムはA1050Pでの試験結果になります。④溶融亜鉛めっき面(ドブ付け)につきましては、弱溶剤二液浸透性変性エポキシ樹脂塗料「エポティ」をご使用下さい。⑤FRPは硬質材のみです。FRP防水材には塗装しないで下さい。⑥新設木部はヤニを削り取り、電気ゴテ焼を行った後、溶剤で拭き取ってから塗装を行って下さい。⑦新品のカラータタンには塗装しないで下さい。

※1 屋外の金属面へ適用する場合は、「マイティー万能水性シーラー白」を2回塗りして下さい。

※2 吸い込まない素材には、白をご使用下さい。

※3 光触媒コーティングへの塗装は、紫外線透過の観点から白をご使用下さい。

大日本塗料株式会社

特長比較

項目	マイティー万能水性シーラー	マイティー万能エポシーラー	当社カチオン系シーラー
作業性	◎	◎	◎
浸透性	◎	◎	○
適用下地	◎	◎	○
臭気	◎	△	○

塗料性状

塗料性状		白	クリヤー
密度 (23℃)	塗料	1.20±0.05	1.00±0.05
	揮発分	1.00	1.00
粘度 (23℃)		50~80KU	50~70KU
加熱残分		50±4% (主剤)	30±4% (主剤)

関連法規

危険物表示	白・クリヤー	主剤：一、硬化剤：第4種第2石油類
有機溶剤区分		—
有害物質表示		SDS参照
劇物表示		—

塗装基準

項目		内容		
下地処理		素材表面の油分・汚れ・埃などを除去し、乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率10%以下		
調合法(重量比)		白	クリヤー	
		主剤14部、硬化剤1部	主剤14部、硬化剤1部	
熟成時間		約30分放置	約30分放置	
可使時間		6時間/20℃	6時間/20℃	
希釈剤		水道水		
塗装方法	刷毛・ローラー	希釈率	0~10%	0~10%
		標準使用量	0.10~0.12kg/m ² /回	0.10~0.12kg/m ² /回
		標準膜厚	30μm/回 ^{*1}	—
	エアレス ^{*2}	希釈率	0~20%	0~20%
		標準使用量	0.12~0.15kg/m ² /回	0.12~0.15kg/m ² /回
		標準膜厚	30μm/回 ^{*1}	—
ウエット管理膜厚		75~100μm/回	—	
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃
	最小(弱溶剤)	48時間	16時間	12時間
	最小(水系)	16時間	4時間	3時間
	最大	14日	7日	7日

*1 吸込みが著しい素材、さびが発生している素材の場合は、素地ごしらえおよび下地調整後、下塗りを2回塗装(標準膜厚60μm)して下さい。
*2 エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5~10%増やして下さい。

標準塗装仕様

工程		商品名	塗り回数(回)	塗装方法	希釈率(%) (重量比)	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1	素地ごしらえ	無機金属					
	下地調整	無機金属					
2	下塗り	マイティー万能水性シーラー 白 (又は)	1~2 ^{*1}	刷毛・ローラー エアレス	水道水0~10 水道水0~20	0.10~0.12 0.12~0.15	4時間以上 ^{*3}
		マイティー万能水性シーラー クリヤー	1~2 ^{*2}	刷毛・ローラー エアレス	水道水0~10 水道水0~20	0.10~0.12 0.12~0.15	4時間以上 ^{*3}
3	完全水系上塗り仕様	【新生屋根】 水性リフレッシュシリコンEXTRA 【外壁・鉄部】 DNT ビューシリコン EXTRA アクアシリコン EXTRA アクアフッソ EXTRA ピュアマット アクアマリントックス凍 【遮熱】 エコクールアクア Si エコクールアクアF ※仕様は各種上塗塗料の塗装基準に準ずる。					
	弱溶剤系上塗り仕様	【新生屋根】 リフレッシュシリコンEXTRA リフレッシュフッソEXTRA 【外壁・鉄部】 DNT シリコンスマイルクリーン EXTRA スマイルシリコン EXTRA スマイルフッソ 【遮熱】 エコクールスマイル Si エコクールスマイルF ※仕様は各種上塗塗料の塗装基準に準ずる。					

注1) コンクリート・モルタルは、含水率10%以下、pH10以下で実施して下さい。
注2) 溶融亜鉛めっき(ドブ付け)への下塗りにはエポティをご利用下さい。
注3) 木部のヤニは削り取り、電気ゴテ焼きを実施して、溶剤で拭き取して下さい。
注4) 屋根の場合は、縁取りを実施して下さい。
注5) その他の素材の場合は、弊社にお問い合わせ下さい。
注6) 新設カラートタンには使用できません。

注7) FRP・硬質塩ビ素材は、サンドペーパーなどを用いて、目粗しを行って下さい。
注8) ALC板の塗装は、巣穴を下地調整塗材で埋めてから塗装して下さい。直接、塗装するのは避けて下さい。
※1 さびの発生が著しい場合は、素地調整後、下塗りを2回塗装して下さい。
※2 吸込みが著しい素材の場合は、下塗りを2回塗装して下さい。
※3 上塗塗料が弱溶剤系の場合の塗装間隔は16時間以上です。

■施工上の注意

- 1) 十分攪拌し、均一な塗料状態にしてから塗装して下さい。
- 2) 希釈は、必ず水道水を使用して下さい。
- 3) 結露などで塗装面が湿っている場合は、塗装しないで下さい。
- 4) 乾燥過程で降雨や結露などの水分の影響を受けると白化することがありますので、この場合は軽く表面を研磨して下さい。
- 5) 塗装環境が気温5℃以下、湿度85%以上の場合は、塗装しないで下さい。
- 6) コンクリート・モルタルの養生は、十分に行って下さい(pH10以下、含水率10%以下)。
- 7) 油・ワックスなどが付着している場合は、完全に除去してから塗装して下さい。
- 8) 被塗面の油・湿気・じんあい・水分・その他の有害な付着物は、完全に除去して下さい。

- 9) 塗装間隔が長くなると密着不良になりますので、規定以上経過した場合は、塗膜表面をサンドペーパーなどで研磨し、さらにウエス拭きしてから塗装して下さい。
- 10) 吸込み止めとして塗装する場合は、希釈率を10~30%目安にして下さい。
- 11) 旧塗膜に弱溶剤一液形塗料が使用されている場合、リフティングを生じる可能性があります。
- 12) 軟質のけい酸カルシウム板には、「クリヤー」を使用して下さい。
- 13) 溶融亜鉛めっき面には塗装しないで下さい。
- 14) 吸込みの著しい素材の場合、一回塗りでは付着性が不十分な場合がありますので、2~3回塗装して下さい。
- 15) 木部は一旦、塗装・乾燥後にクバ立ちを研磨除去し、再度塗装して下さい。

■使用上の注意

取扱いは下記に注意事項を守って下さい。※詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱上の注意

1. 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行って下さい。
2. よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
3. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
4. 捨てるときは、産業廃棄物として処分して下さい。
5. 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

1. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
2. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
3. 容器からこぼれた時には、砂等を散布したのち処理して下さい。

DNT 大日本塗料株式会社

- 大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
- 東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
- 札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
- 仙台営業所 ☎022-288-8866 ☎984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町8-1(廣喜センタービル)
- 名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
- 広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
- 福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>



地球環境への負荷軽減のために、
植物油インキを使用しています。

※本チラシに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。※本製品の内容は予告なく変更することがあります。
※本チラシは、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前に弊社にお問い合わせ下さい。
※本チラシに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。